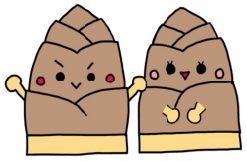
11月 Nobember たけのこだより



令和 8 年 11月 2日

木枯らし一号が吹きました。朝夕の寒暖差で服装選びに迷いますね。たけのこでは基礎運動や自由遊び、室内活動など身体を動かすカリキュラムが多いので薄着で大丈夫です。登降所時と外遊び・散歩時にはジャンパー（上着）を着て調整していきます。晴れた日には寒さに負けず、外でたくさん遊びたいと思います。

例年でしたらこれからインフルエンザが流行する時期ですが、今年は既に9月から流行が始まり、流山市内の多くの小中学校では学級閉鎖や学校閉鎖が実施されています。インフルエンザの感染を広げないためにたけのこでは、手洗いやうがいの励行、こまめな換気を行い、子どもたちが元気に過ごせるよう感染症対策に力を入れていきます。　ご家庭でも、次のポイントを意識して予防に努めましょう。

① 外出後の「手洗い・うがい」　② お部屋の「換気（1時間に1回）と加湿（50～60%）」
③ 「早寝・早起き・朝ごはん」　④ 人混みでは「マスク」の着用

元気に冬を乗り切っていきましょう！



●●●11月の主な予定●●●

月	火	水	木	金
2 衣替え週間 着替え袋持ち帰り	3 文化の日	4	5	6 通所希望調査票 締切日（年少・年中）
9 避難訓練	10	11 避難訓練	12	13 避難訓練
16 誕生会週	17	18	19	20
23 勤労感謝の日	24	25	26	27
30	＊定期的にHUGをログインしてください。 また、マイページから10月実績記録票にデジタルサインをお願いします。			

●●● 12月の主な予定 ●●●

8日（火）・10日（木）	避難訓練	12日（土）	クリスマス会
14日（月） ～	誕生会週間	21日（月）～25日（金）	大そうじ週間
26日（土）～1／6（水）	たけのこ冬休み	2027年1／7（木）	新年始業日

※行事予定は変更する場合もあります。

こあら組の作品　（きのこ）



きりん組の作品　（ハロウィンおばけ）

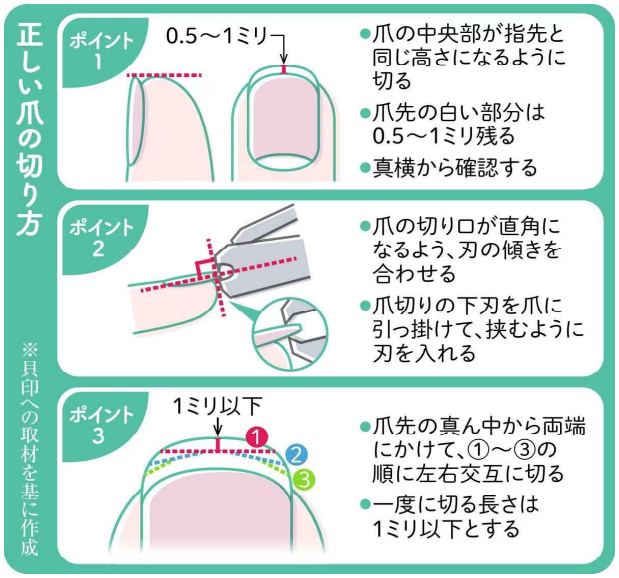


爪のチェックをしましょう

子どもの爪は薄いので、爪が伸びていると肌を掻いたときに傷になってしまったり、お友だちを傷つけてしまうこともあります。

週末には親子のスキンシップを兼ねて、爪切りタイムをつくってみてはいかがでしょうか。

お子様が爪切りを嫌がって動いてしまう時は、一緒に歌を歌いながら切ったり、抱っこしながら切ったり、テレビや動画を見せて注意をそらしたりして、なるべく動かないよう意識してみるといいかもしれません。



ジャンパーを着用します

朝夕の寒暖差が大きくなってきました。たけのこへの登降所や外遊びの際にジャンパーを着用します。

“フードのないもの”、“薄手のもの”をご用意ください。用意ができ次第、持たせてください。家庭でもジャンパーの着脱を練習してみてください。



新年度の通所希望調査（年少・年中対象）

新年度（令和9年度）の通所希望調査を行っています。配付しました調査票をご記入の上、11月6日（金）までに必ず提出してください。

一日のお預かり人数によっては、ご希望に添えない事もありますのでご了承ください。

よろしくお願いいたします。

今月のコラム

「できる自信」と「そのままの自分」　～子どもの心を育むために大切なこと～

近年、「自己肯定感」という言葉をよく耳にします。子どもに自信を持ってほしい、自分を大切にできる子に育ってほしい。そう願う保護者の方も多いのではないでしょうか。もちろん、自己肯定感は大切です。ですが、子どもが自分を肯定的に捉えられるようになるためには、「自分ならできるかもしれない」と感じられる経験も、同じくらい大切なのではないかと考えています。

例えば、難しいことに挑戦したり、失敗しても工夫してもう一度取り組んだりする経験。「自分なりにやってみたら、できた！」という積み重ねが、自分の力を信じる気持ちにつながります。このように、「自分ならできるかもしれない」と感じることを、心理学では**「自己効力感」**といいます。子どもが自分で挑戦する姿を見守り、結果だけでなく頑張った過程を認めることが、次の一歩を踏み出す力になります。

そして、もう一つ忘れてはいけないのが、**うまくできないときにも、自分の存在そのものを大切にしてもらえること**です。できたからすごい、できないからダメなのではなく、苦手なことがあっても、失敗しても、その子は大切な存在です。「難しかったね」「一緒に考えてみよう」と気持ちに寄り添うことも、子どもの心を支えます。

「自分ならできるかもしれない」という自信と、「できてもできなくても、自分は大切な存在なんだ」という安心感。この両方を大切にしながら、子どもたち一人ひとりの成長を温かく見守っていきたいですね。

臨床発達心理士／公認心理師　島貫　瞳